

感染対策情報

R4.8

個人防護具について

医療従事者は、業務上様々な病原体に曝露される機会の多い職種です。個人防護具を装着することで、感染症の原因となる病原体から身を守ります。個人防護具にはマスク・手袋・エプロン・アイガードなどがあります。



どのような時に装着するか

防護具	装着が必要な時
手袋	感染性物質に汚染されそうとき・鋭利器材を扱うとき・自分の手に傷があるとき
マスク	呼吸器症状のある患者に対応するとき・自分に呼吸器症状があるとき
エプロン・ガウン	ユニフォームが感染性物質汚染されそうとき(器具洗浄時なども含む)
アイガード等	呼吸器症状のある人に対応するとき・マスクをつけられない人に対応するとき

着脱手順について

1 装着手順:手を清潔にしてから装着をしてください

手指衛生

ガウン
エプロン

マスク

アイガード
フェイスシールド

手袋

2 脱衣手順:使用後の個人防護具は、感染リスクが高くなっていますので汚染度の高い個人防護具から脱ぎます。感染リスクを減らすために、脱ぐ時は表面に触らないように適切な順序で脱ぐようにしてください。

手袋

★
ガウン
エプロン

▲
アイガード
フェイスシールド

マスク

手指衛生
うがい等

手袋を外した手を反対の手袋の内側に差し込んで脱いでください



①上、②下の順に腰のあたりで丸めて前に引っ張って紐をきって外します。



マスク表面を持たず、ゴムひもを持って外しましょう

★の箇所は手指衛生を実施します。▲の箇所は手が汚れた可能性がある場合に手指衛生を追加してください。

個人防護具の効果を高めるために

手袋:手のサイズに合ったものを選択して、手首までしっかり覆うようにする。

マスク:顔のサイズに合ったものを選択する。(大きいマスクはズレやすくなります)

ノーズワイヤーをしっかり曲げる、鼻から顎までしっかり覆う・プリーツがある場合はしっかり広げる

エプロン:体幹をしっかりとおおう

ガウン:手首が露出しないように装着する(袖を伸ばし手袋のカフ部分でしっかりとおおう)

アイガード:眼や顔面を確実に覆う

イラスト出典:JANIS医療関連イラスト集